

- 2023年度に控える幕張新都心拡大地区新駅開業時にありたいモビリティサービスの姿から逆算し、その実現に向けたスケジュールを細分化し、各年度の取組事項を明らかにする必要がある。



2021年度の取組み

- コンソーシアム全体としては、サービス実現に向けたニーズ・環境・課題の整理を行うとともに、それらを踏まえた実証実験等を積み重ねることで、幕張新都心におけるサービスイメージを明らかにする。
- 各WGにおいても、WGごとの目標を設定し、活動を前進させる。
- WGにおける検討について、コンソーシアム全体の活性化を図るため、例えばモビリティサービスを検討するWG（自動運転、マイクロモビリティ、サービスロボット）における上半期検討状況に対して、賑わい創出や情報連携を検討するその他のWG（利活用、MaaS）の意見をフィードバックすることで、好循環を創出する。

	2021.4	2021.5	2021.6	2021.7	2021.8	2021.9	2021.10	2021.11	2021.12	2022.1	2022.2	2022.3
自動運転WG	実証実験の検討						検討 中間 まとめ フィード バック	自動運転実証実験		実証実験結果検証		検討 まとめ サービス イメージ の 明確 化 最適 化 モ デ ル
	走行環境調査結果を踏まえたルート・インフラ課題検討											
マイクロWG	抽出された課題や実証実験の検討							パーソナルモビリティ実証実験		実証実験結果検証		
	電動キックボード実証実験							利用促進・モビリティ間連携の検討				
サービスWG	実証実験の検討							サービスロボット実証実験		実証実験結果検証		
	ユースケースの具体化							ビジネスマッチング				
利活用WG	地域の移動ニーズ・域内交通資源の実態把握						交通最適化に向けた検討					
MaaS WG	プラットフォーム要素・情報連携の検討						MaaSサービスモデルの立案					
事務局	市事業制度設計			実 証			実 験	支 援				
	新 駅 ロ ー タ リ ー			駅 前				広 場 整 備 検 討				

サービスイメージの明確化
 最適化モデル